

浅科小学校だより

賢 優 健

令和5年6月21日(水) NO.3

佐久市立浅科小学校 (58-2102)

(文責 校長 熊井恵子)

先週、待望の音楽会が開催されました。どの学年もすばらしいステージ発表になったこと、他学年のステージを集中して聴く姿があったこと、心から子どもたちを褒めてあげたいと思います。本番だけでなく、練習や準備、片付け等の場面でも大きな成長を感じることができました。子どもたちを支えてくださった保護者の皆様、本当にありがとうございました。また、会場への入場制限、校庭へのスムーズな駐車等にご協力いただき、心より感謝申し上げます。

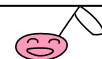
3年生 リコーダー奏『スウィング』 部分二部合唱『春夏秋冬そして春』



音楽会最初のステージを担ってくれました。初めてのリコーダー、息の使い方や指使いに、丁寧に演奏されているなど感じました。予想を超えたリコーダーパフォーマンスでした。左右上下、斜め下（これが小粋でしたね）、体でリズムをとりながらも音が乱れない！素晴らしかったです。退場も発表の一つと考えてくれたのでしょうか。退場の歩き出しがとても美しかったと思いました。歌の発表では、♪～はーのおがわわ～の「おがわわ」の部分で「が」から「わ」、地

声から裏声に入るのがとても難しいと思うのですが、見事に歌いきっていました。「椰子の実」では、♪～ふるさとのきしをはーなれて～♪の「ふ」の音がとても美しく響いていました。「もみじ」では音の重なりを楽しみ、「赤鼻のトナカイ」では、地声で子どもらしく元気に歌っていて、バリエーションに富んでいましたね。呼びかけと歌がセットになり3年生から4年生へと成長していく様子が表現されていたと思います。

4年生 合奏『ロッキーのテーマ』 二部合唱『With you smile』



合奏では、演奏はじめの「かっこよく決めろぞ、オー！」に一体感がありました。その一体感のまま迫力あるスタートでしたね。鍵盤ハーモニカの指使いが揃っていたり、音の強弱を意識した木琴のバチさばきがあったりして感心しました。バスマスターや打楽器が、速くなりがちなテンポをおさえ見事に整えていたと感じました。合唱では、歌の背景や解釈を大事にして歌っているなと思いました。優しく語りかけるような歌い出し、小さな声でも発声を大事にしているからでしょうか、歌詞がきちんと伝わりました。♪～そつと一つつんでーはーこーぶーよ くもにのせてー～♪ この部分で、少しずつ盛り上げながら気持ちをのせていく歌い方が素敵でしたね。「濁音」や「e音を伸ばすとき」「鼻濁音」がきれいで、びっくりしました。



1年生 合奏『ミッキーマウスマーチ』 斉唱『だれにだってお誕生日』



合奏では、ダンスから演奏への切り替え…見事でした。「ジャンボリーミッキー」は今やっているのですが、オープニングとしては最高ですが、笑いが続いてしまう可能性があります。しかし、ミッキーマウスマーチは見事にピタッと始まりました。「切り替え」という大事な学びがありましたね。鍵盤ハーモニカの指使い、打楽器のリズム、とても上達した姿を見て、がんばったんだなと嬉しくなりました。歌の発表では、♪～ろうそく ふきけし ハッピーバースデー～♪、練習で苦労していた言葉の部分も、すっかりコツをつかみ、歌

いきっていましたね。大きな声で「はーい」と手をあげる姿、体でリズムをとりながら大きな口をあげて思い切り歌う姿、元気をいっぱいもらいました。会場を「まきこんで」「いっしょに」発表を創り上げてくれたこと、本当に楽しかったです。大拍手をもらって堂々と退場する姿は、とても立派でした。

2年生 合奏『カエルの合唱～ワールド編』 斉唱『カエルのギター』

合奏では、緑をあしらった思い思いの衣装で、かわいらしくかつまとまりのある雰囲気を感じました。カエルの合唱をアレンジし、世界を表現したところがとても面白かったですね。練習の時は、手元を見ていた子どもたちも、先生の指揮に集中し、堂々と発表していた姿が嬉しかったです。1年生のお手本になっていたと思います。指使いは、ほとんど同じだったと思うのですが、広がりや厚みのある発表になっていました。表現力とドリル学習を兼ね備えた曲ですね。歌の発表では、元気いっば



の曲紹介から始まり2年生らしい元気な歌声でした。息をしっかりと吸って体全体で歌っている様子がとてもすばらしいと思いました。声の響きに迫力を感じました。エアギターの演出が面白く、体のリズムや交替しながらの表現の面白さに見応えを感じました。また、曲の最後は組体操を連想させる「見せるフィニッシュ」でしたね。

金管バンド 金管合奏『ザッツ ア プレンティ』『小さな恋のうた』



曲紹介の時の「聴いてもらってこそ曲として成立する」という言葉。その気合いが伝わってくる演奏でした。圧巻。音を楽しんでいる、自分が音を創っている、そんな印象を受けました。4月からの練習の積み重ねが、プロとしての誇りを持たせてくれるのでしょうか。緊張もあったでしょうが、「演奏を聴いてほしい」という想いの方が勝っていたと感じました。同じ音でも、強さだったりまるやかさだったり表現の多彩さは、さすが金管バンドクラブです。楽器を鳴らすのではなく楽器で歌っているという感じがしました。

5年生 合奏『エルクンバンチェロ』 二部合唱『風になりたい』

合奏は、テンポの速い曲ですが、正確にリズムを刻んでいました。打楽器や木琴が曲調に合わせて強弱を表現していてすごいなと思いました。私が知っていたエルクンバンチェロとは少し違って、メロディー楽器と木琴、打楽器とのかけ合いや、単楽器奏があり、メリハリのある演奏に子どもたちの集中力が加わり、変化に富んだ迫力のある演奏でした。合唱は、まとまりのある美しい歌声だと思いました。この曲のテーマ「風」をイメージして声出しを行ってきたのかなと思うほどです。歌詞が風に乗って伝わってくるような感じがしました。高学年としての歌声をしっかりと身につけていますね。♪～あな一たにあえた しあ一わせ かんじて かぜに一なり一たい♪の部分の響きがとても美しく、音が重なり合っていて、聴いていてとても気持ちがよかったです。



6年生 合奏『剣の舞』 二部合唱『地球星歌～笑顔のために～』



正確なテンポで完成されていたことに、本当に驚きました。休み時間に木琴や鉄琴の子どもたちが自主練習をしていました。鍵盤ハーモニカとアコーディオンのバランスがきれいに聞こえ、互いの音を聞き合っているのだろうか、と、これも驚かされました。最後の部分は、かなり揃えるのに苦労するところだと思うのですが、ピタリ揃っていました。すばしかったですね。二部合唱では、一息一息、そして言葉に想いを

のせて歌ってくれました。どのシーンもどの言葉にも、手を抜かず指揮者に集中して表現した6年生は、さすが最高学年だと感じました。「歌で語りかける」ができる6年生は、なかなかいません。さすが浅科小学校の6年生です。♪～あなたのまいに一ちが せか一いをつく一り あい一する おも一いが ちきゅうへと ひろ一がる わたしは いのる あしたの ために まだみぬ あな一たの えがおのために～♪ 歌詞の美しさと歌声の美しさ、一生懸命に表現する子どもたちの姿に、涙があふれて止まらなくなりました。本当にすてきでした。